

# Tokyo Kasei Press

## 学園新聞

### 第67号

学校法人 渡辺学園  
 発行 総務部総務課  
 〒173-8602 東京都板橋区加賀  
 1-18-1 電話(3961)5226

東京家政大学 大学院  
 東京家政大学 短期大学部  
 東京家政大学 附属女子中学校  
 附属女子高等学校 附属女子中学校  
 附属みどりヶ丘幼稚園

### 主な内容

- 2015 年頭所感 「はたらく」高齢者養成が、今後の課題  
「新しい明日に向かって」…………… 1 面
- 狭山キャンパス「かせい森のクリニック」開業…………… 1 面
- 第54回 緑苑祭開催 …………… 2 面
- 厚生労働事務次官 村木厚子氏が来訪…………… 2 面
- 東京家政大学×FamilyMart  
第3弾コラボ商品が発売!! …………… 2 面
- 大学のここが知りたい!! 「女性未来研究所」…………… 3 面
- かせい森のおうち 第1回うんどう会開催…………… 3 面
- 北区高齢者ふれあい食事会開催(味の素とコラボ)…………… 4 面

# 2015 年頭所感

## 新しい明日に向かって

## 「はたらく」高齢者養成が、今後の課題



学長 川合 貞子

新年あけましておめでとうございます。本年がすべての人々にとって、平和で安心安全な社会としての発展が期待できる一年であり、ますよう願っております。

昨年4月に学長に就任いたしました。ほぼ10ヵ月、その間多くの皆様のご指導とご支援をいただきましたことを心から感謝申し上げます。

2014年は、ノーベル物理学賞が青色発光ダイオード(LED)の発明と実用化に貢献した業績で赤崎勇・名城大学終身教授、天野浩・名古屋大学教授、中村修二・米カリフォルニア大学教授に授与されるといふ大変嬉しいニュースがありました。しかし一方、水害、噴火、地震等の災害の発生に心を痛め、デング熱、エボラ出血熱の感染を心配する等、環境の変化や異常に危機感を持って臨まなければならない現実、様々



理事長 清水 司

明けましておめでとうございます。

安倍晋三首相は平成24年に、50年後も日本の人口を1億人維持する目標を閣議決定し「経済・財政運用指針」に明記すると発言しました。これは大変難しいことと、人口問題研究所の推計では日本は現在65歳以上の高齢者の比率は25%、2060年には40%になると予測しています。高齢者が多数を占め、人口が減少し、

生産力不足が深刻化するこの超高齢化社会をどう生き抜くことができるかが極めて大きな問題です。

高齢者を老人ホームでの生活だけでなく、これまでのキャリア、経験の豊富さ、技能をもって、社会のリーダー・戦力として、年齢にかかわらず生涯現役として社会を活性化し、生き生きと働くことのできる社会を作ることが必要です。また、同様に女性の社会活動

への参加も必須となり、「はたらく」高齢者の養成が最も重要な課題となるのではないのでしょうか。

私は常日頃、従来のように65歳以上を高齢者とするのではなく、80歳以上を高齢者とすべきと考えています。今の時代、60歳代、70歳代は元気に社会に貢献できます。多様な社会的役割の遂行も大切なことです。

そうでなければ、地域社会を維持することはできなくなるのでしよう。

健康に留意し、働き方を工夫すれば、多くの高齢者を「はたらく」高齢者とするのができるのではないかと考えます。これまでの社会福祉のみに重点をおいた高齢者対策を切り替え、「はたらく」高齢者を作ることが、今後の大きな課題です。

現在、子ども大学が自治体等で開設されています。側面における危機管理のあり方が厳しく問われることを再認識いたしました。

本学は昨年4月に狭山キャンパスに看護学部と子ども学部を新設し、板橋キャンパスの家政学部、人文学部、短期大学部として大学院を合わせ擁する大学となりました。現在、国を挙げて教育の問題が議論され、次々と教育改革への提言がされていますが、東京家政大学として、その歴史の中で培ってきた特色と魅力ある教育を基盤として改革を推進すべく努力をしております。また、教育改革と教育研究環境の充実、そしてその実現のための組織・設備の整備計画を渡辺学園全体として中・長期的に策定することを目的に「学校法人渡辺学園東京家政大学将来計画策定のための検討会議」が昨年11月に

が、高齢者のための生き生き大学等、これこそこれからの大学の使命の一つではないのでしょうか。まず、健康の維持増進、高齢者の個人の個性に見合うやりがいのある仕事、技術の習得、時代の変化に因應する能力、人間力の維持発展のためのカリキュラムの開発提供が重要であると考えます。

OECDの調査によると大学に在籍している学生を年齢別に見てみると、諸外国は25歳以上の入学者の割合が約20%であり、社会人学生が相当含まれています。日本の社会人学生比率は2・7%であり、大きな差があります。これからの大学経営は高校生だけを相手にするのではなく、「はたらく」高齢者向け等に対しても働きかける必要があるのではないのでしょうか。

発足し、更なる改革の推進が図られることになりました。東京家政大学の教育理念は建学の精神である「自主自律」の道を歩むことのできる人材の育成と生活信条としての「愛情・勤勉・聡明」を実践できる人材の育成であり、将来計画の基軸となります。広い視野を持って多様性に豊かな社会で共生的に生きる力を持ち、積極的に社会に参加、貢献する人として育てることが責務です。さらに地域社会との連携や、社会人の生涯学習の場として本学の持つ資源を十分に活用することも大学の重要な役割です。

将来の目標に向かって前進する道筋をつくる大事な年になります。教職協働で歩んでまいりたいと思っております。お力添えよろしくお願ひ申し上げます。

かせい森のクリニックは、9月3日に設置が認可され、10月1日に開設、6日が最初の診療日となり、東京家政大学としては、初めての医学診療機関として発足しました。狭山キャンパスの看護学部と子ども学部と密接な関係を持って運営されていきます。

診療内容は、二つの分野に分かれており、小児のアレルギー疾患を診る小児・アレルギー科と、小児神経内科という名称のもとに発達障害の専門診療を行うというユニークなものです。

全て紹介予約制ですが、当面の間は月曜日の午後を診療日としています。小児神経内科の方は、すでに人間市や狭山市との連携が進んでいて、順調に紹介されていますが、アレルギー科の方は、開設当初はまだまだこれからという状態です。

いずれにしても地域と密着したクリニックを目指しています。治療を主体にするというよりも、専門医のコンサルトを受けるといったイメージが正しいかと思えます。保険診療を行いますので通常の開業の先生にかかる場合と同じですが、発達障害やアレルギー疾患とどのように付き合っていくのか、専門医がどのように考え対策を打ち立てていくのか、保護者や教育者の方々の共同作業を行っていくことが、すなわち治療に通ずるといって考えています。その診療行為を通じて、地域の方々に成果を還元し、看護学部と子ども学部など人間を対象にする本学学生にとっても勉強できる場としていくことも、クリニックの目的です。

**狭山キャンパス**  
**「かせい森のクリニック」開業**  
 院長 岩田 力


**秋篠宮妃紀子さま東京家政大学博物館にご来館**  
 秋篠宮妃紀子さまは9月29日、グアテマラ訪問を前に本学博物館にお立ち寄りになり、博物館に展示のグアテマラの民族衣装等を30分余にわたり、ご覧になられました。

**2月末決定 第4回目 渡邊辰五郎賞**

本学園は、平成23年度に創立130周年を迎えました。日本近代の黎明期である明治時代の偉大なる教育家として評価されている渡邊辰五郎の偉業を讃え、後世に伝えるため、創立130周年を記念して「渡邊辰五郎賞」を創設しました。渡邊辰五郎賞は、本学の建学の精神である「自主自律」に相応しく、社会で活躍するとともに貴重な貢献をした卒業生を称えるものです。

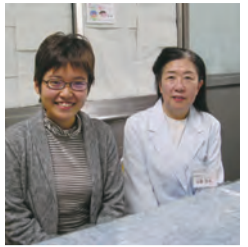
\*渡邊辰五郎賞(1名) 記念メダル及び副賞(30万円)  
 \*渡邊辰五郎奨励賞(2名) 記念メダル及び副賞(10万円)

既に応募は、12月31日に終了し、現在、渡邊辰五郎賞選考委員会にて、選考を進めており、2月末日に決定します。詳細については、学園のHPをご覧ください。(総務課内「渡邊辰五郎賞」事務局)



トキョー 研究室訪問 39

栄養学科 土屋京子先生



学生記者 土屋先生 (調理学第2研究室にて)

◆先生が栄養学を志した理由は何ですか？

食べることが好きだったからです。母も祖母も、手先が器用で料理上手でした。「家政」とは、家のまつりごと、と書きますが、その学びに興味があり、中でも食には一番関心がありました。

◆食品の物性の研究を始めたいきっかけは何ですか？

大学での学びで一番面白かったのは調理科学で、卒業論文では、スポンジケーキの材料の配合比率を変えて、でき上がりにどのように影響するのかを研究しました。そこから、食品の物

◆興味について教えてください。

スポーツ観戦です。私自身、スポーツが得意な方ではないため、見ていてとても楽しいです。また、色々な物を集めたりすることも好きです。最近買ったのは、エッグスタンドです。ゆで卵を置くと、金槌をもった人の腕が動き、割ってくれる優れもので、癒しです。

◆学生へのメッセージをお願いします。

一生に食べる食事の回数は1日3食、80年生きたとしても、たったの87600食しかありません。その1食1食に向き合い、学ぶ姿勢を忘れないでください。疑問はすぐに解決する癖をつけて、それぞれの目標に向かって、学生生活を有意義に過ごしてください。

◆インタビューを終えて

特に研究のことになると、目をきらきら輝かせて色々なお話を聞かせてくださった土屋先生はとても魅力的でした。一日一日を大切に過ごされている先生のご様子に深く感銘を受けました。

好評につき 東京家政大学 × FamilyMart 第3弾コラボ商品が発売!!

今回は働く女性を対象としたお弁当・パスタ・スープの3品を学生とファミリーめい女子部が共同で商品開発。商品は10/28より期間限定で関東及び山梨県、長野県、静岡県東部の4600店舗で販売されました。試食検討会を重ね、いずれの商品も味はもちろんのこと、価格や見た目にもこだわった商品が完成しました。今回も商品開発の他、ファミリーマートで流れる店内放送の収録・緑苑祭での先行販売・経済産業省が入っているビルでの出張PRなど、様々な販売促進活動を行いました。商品パッケージや販促物、ポスターのデザインは大3造形の内海奈子さん、関根亜美さん、三木愛子さんが担当し、何度も修正を繰り返しながら可愛いデザインに仕上げました。

- ハニージンジャーチキンとゴロゴロ野菜 ~クリームマスタードソース添え~
- 秋鮭とレモンのクリームソースパスタ
- 野菜とつくねの ごま豆乳春雨スープ

大3栄養 迫田奈緒さん 450円(税込)

大4栄養 野中木乃実さん 460円(税込)

大3栄養 神野希実さん 398円(税込)

**厚生労働事務次官 村木厚子氏が来訪**

4月に発足された女性未来研究所に樋口恵子名誉教授が所長に就任しました。これを受け、7月25日に村木厚子厚生労働事務次官が来訪され、板橋キャンパス理事會室にて、対談が行われました。

対談の中で、村木事務次官より樋口所長へJND(ジャパンダイバーシティネットワーク)の呼びかけ人としての依頼があり、後に女性未来研究所が団体加

入することになりました。今後、研究所としてこのJDNの活動にも関与していくこととなります。

※JDN活動目的

- ①ダイバーシティの理念・重要性の普及
- ②各分野でダイバーシティを進めるための共通課題の抽出、解決のための情報の共有、ノウハウの開発・交換の実施及び普及
- ③ダイバーシティを推進するための政策提言

村木厚生労働事務次官(前列左側)と学園関係者

**★板橋校舎 学生生活で忙しい中、日々練習を重ねてきたサークル活動の努力の成果が盛大に発揮されました。正門前では、太鼓サークルの力強い演奏がお腹の底から響き、わいわい通りを過ぎると躍動感あるチャリデー**

**第54回 緑苑祭 開催『Memory』**

楽しく、笑顔があふれた熱い2日間

専門性が深まる 学科シンポジウム

専用の学びを受けられる東京家政大学の良さを、十分に発揮した学科シンポジウムが開催されました。各学科のスペシャリストの方々による素晴らしい講演が繰り広げられ、児童学科では、保育園園長・幼稚園園長をお迎えして、来年度から始まる新制度の保育を前に、より質の高い幼児教育・保育について、お話を聞きすることができました。熱心に耳を傾けている参加者が、印象的でした。

**★狭山校舎 特色を生かした 学科シンポジウム**

多くの学生達が参加し、座りきれない人が後ろに立つての参加が見られました。最後の質疑応答の時間には積極的に質問する学生の姿が見られ、少しでも多くのことを学びたいという気持ちがあふれてきました。

看護学科、子ども支援学科共に専門性の高い内容で、1年生は自分の学科への関心が深まり、今までの以上に学びに対する意欲が高まったと思います。

興味を引く参加体験型 学科企画、有志団体等

狭山緑苑祭で興味を引かれたのは、参加型の学科企画でした。看護学科では、ナース服を着ることができたり沐浴の体験ができた。実際に学生達が学んでいることを体験できました。子ども支援学科では、段ボールの迷路やパネルシアターを演じるなど、子ども達が楽しめる内容が多く含まれていました。

板橋キャンパスの緑苑祭とは一味違う、狭山緑苑祭らしさを感じました。

有志団体や本部企画では、ダンス発表やメイクアップ講座もあり、狭山緑苑祭をさらに盛り上げていきました。

大2育支 猪又菜々美 高澤千尋

**明治安田生命とのコラボ 「丸の内イクメン部フェスティバル」開催**

11月29日、明治安田生命保険相互会社企画部が展開する「丸の内イクメン部」とのコラボレーションイベント「丸の内イクメン部フェスティバル」が本学を会場に開催されました。

「丸の内イクメン部」は、丸の内を拠点とする周辺企業の父親が中心となり、父親が子育てに積極的に関わることを目指して、情報交換の場の提供や家事・育児スキルの向上のためのイベント等を主催する団体です。

今回のイベントは、本学の育児・保育などの分野での高い専門性が評価され、明治安田生命保険相互会社企画部からの依頼を受けて女性未来研究所の「ワークライフケアバランス」に関する調査・研究の一環として実施されました。

イベントでは、父親と子どもが力を合わせて協力し、約15種類のレクリエーションに挑戦する「ミツシヨウ型ウォークラリー」等を行いました。

お父さんと子どもが真剣勝負!

家族みんなでクイズに挑戦!

第54回緑苑祭が板橋校舎では10月25・26日、狭山校舎では26日に開催されました。今回のテーマは、「Memory」。新しいことに挑戦し自ら積極的に学び、大学生活が素敵な思い出となるように充実した毎日になろうという想いが込められました。

また、自然が豊富な狭山キャンパスでは、看護学部と子ども学部が4月に新設され、初めての学園祭は素晴らしい幕開けとなり、サプテマは「新しい家政の1ページ」で、狭山キャンパスとしての新しい1ページを刻みたいという願いが込められました。

両日とも、天候に恵まれ、各キャンパスがそれぞれに趣向を凝らし、当日は、沢山の来場者が詰めかけ、大盛況のうちに終了しました。

毎年の恒例ともいえる模擬店が並びわいわい通りとびっかぴか通りには、多く

から始まる新制度の保育を前に、より質の高い幼児教育・保育について、お話を聞きすることができました。熱心に耳を傾けている参加者が、印象的でした。

**★狭山校舎 特色を生かした 学科シンポジウム**

多くの学生達が参加し、座りきれない人が後ろに立つての参加が見られました。最後の質疑応答の時間には積極的に質問する学生の姿が見られ、少しでも多くのことを学びたいという気持ちがあふれてきました。

看護学科、子ども支援学科共に専門性の高い内容で、1年生は自分の学科への関心が深まり、今までの以上に学びに対する意欲が高まったと思います。

興味を引く参加体験型 学科企画、有志団体等

狭山緑苑祭で興味を引かれたのは、参加型の学科企画でした。看護学科では、ナース服を着ることができたり沐浴の体験ができた。実際に学生達が学んでいることを体験できました。子ども支援学科では、段ボールの迷路やパネルシアターを演じるなど、子ども達が楽しめる内容が多く含まれていました。

板橋キャンパスの緑苑祭とは一味違う、狭山緑苑祭らしさを感じました。

有志団体や本部企画では、ダンス発表やメイクアップ講座もあり、狭山緑苑祭をさらに盛り上げていきました。

大2育支 猪又菜々美 高澤千尋

# かせい 森のおうち

## 第1回 うんどう会

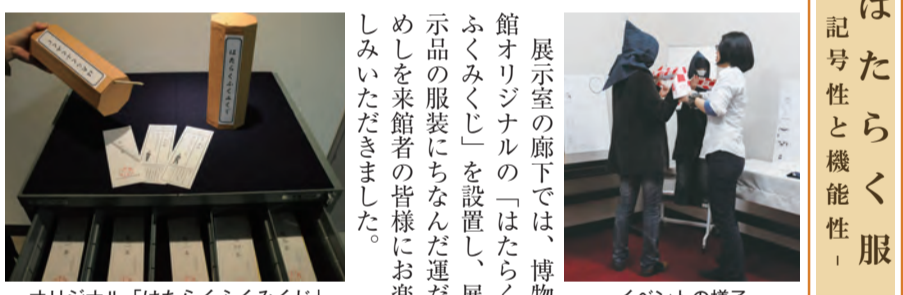
### 開催

狭山キャンパスに4月、定員60名の保育園「かせい森のおうち」がオープンしました。開園当時、よちよち歩きだった幼児も10ヶ月が過ぎ足取りもしっかりしてきました。3〜5歳児は少人数ながらもいろいろなグループ活動ができるようになったことから、子ども学部池森先生のご指導を得て10月5日に第1回運動会を開催することが出来ました。3歳未満児が多く、今回は大学の体育館をお借りして天候の心配もなく多くの保護者の参加の中、なかやかで楽しいひと時でした。30メートルを全速力で走る4・5歳児、入園時に比べ身体も運動能力も成長した姿を披露できて得意な表情が印象的。保育士手作りのミニミニ谷や西武池袋線の電車での親子ゲーム、元気で走る子やお母さんにしがみつく子などいろいろでした。紅白に分かれての保護者綱引きはどちらも大迫力。子ども達とお父さん・お母さんだけでなく、おじいちゃん・おばあちゃんや川合学長、保育士も参加してのパン食い競争はみんな楽しんでました。ご家族とお弁当を食べる子ども達の笑顔で閉会しました。



元気にパン食い競争にチャレンジ  
お父さんと西武池袋線親子ゲーム  
みんな一緒にパラバルーン

今回の企画展では、裁縫雛形を手がかりに、明治から昭和初期までの職業服と仕事着を展示し、その記号性と機能性を紹介しました。



オリジナル「はたらくふくみくじ」  
展示室の廊下では、博物館オリジナルの「はたらくふくみくじ」を設置し、展示品の服装にちなんだ運だめしを来館者の皆様にお楽しみいただきました。

今後とも企画展にあわせたイベントなどの開催を予定していますので、ぜひ博物館に足を運んでください。

## 「かからない」・「うつさない」インフルエンザ予防

- ★インフルエンザとは... インフルエンザウイルスに感染して起こる病気。感染性が非常に強く重症化しやすいため普通の風邪とは異なる。毎年11〜3月に流行し、突然の発熱(38度以上)、頭痛、関節痛、咳、痰などの症状が出現する。
- ★予防のポイント
  - ①手洗い・うがい
  - ②咳エチケット  
インフルエンザの主な感染経路は飛沫感染。飛沫(口から出る水滴)を浴びないようにすればインフルエンザに感染する機会は大きく減少する。  
\*咳やくしゃみを他人に向けて発しない。  
\*できるだけマスクをする。 \*手のひらで咳等を受けた時はすぐに手を洗う。
  - ③ワクチン接種  
発症予防と重症化の防止に有効。効果が出現するまで2週間程度を要する。
  - ④健康管理  
十分な睡眠とバランスのとれた食事により抵抗力が高まる。
  - ⑤部屋の換気と加温・加湿  
乾燥しやすい室内では、加湿器などを使って適切な湿度(50〜60%)を保つ。
- ★もしもかかったら...
  - ・早めに医療機関(内科・小児科)を受診する。 ・安静にする。(休養・睡眠)
  - ・水分補給を十分に行う。(お茶・スープ等、飲めるものでよい。)
  - ・咳等の症状がある時はマスクを着用する。 ・外出を控える。



## 博物館

企画展「はたらく服」記号性と機能性

好評のうちに終了

## 女性未来研究所

### 所長 樋口恵子

女性未来研究所は2014年4月、東京家政大学に設置され、私は初代所長に任命されました。未来を設計し創造する、ということ、人間しかできない営みであり、その内容は人類以外の全ての生物の未来を左右します。この人間しかできない未来の創設に、女性だけが子の教育を通して関わってきませんでした。関わる道が閉ざされた時代が長く長く続きました。女性たちは現実の社会を支え

るためにそれぞれの場所で精いっぱい働いてきました。が、未来の設計はおろか民主主義社会のさまざまな政策決定の場から結果として消去されていきました。「結果として」というのは、方針決定に関わる被選挙権や、組織の管理職などについて、女性を排除した差別的な制度があるわけではなからず、現在の国会議員女性比率をはじめ地方議員も、就労率も、職場の管理職比率も世界最低に近い現状が長く続いていますが、それは日本人にとつて見慣れた風景でした。当の女性たちも、政治に関心のある人は問題視してきてきたが、多くは見過ごしてきてきました。このところ急に女性活躍の政策が前面に出てきたのは、国連、OECD、世界銀行など国際機関から、日本の女性の社会的活躍度の低さを、日本経済低迷の主要因と指摘されたことがきっかけでしょう。理由はどうであれ、私は女性個人にとつて、より充実した未来があるからという理由だけではありません。これまでほとんど男性中心で設計されてきた未来と、もしかしたら未来の形が変わってくるかもしれない。女性の人生について、いまだに男性と違った壁があり社会の方針決定に十分反映されていないことは、さまざまな数字統計が示すとおりです。そして女性人間の一生を支える生活ケアの部分も男性より多く担ってききました。家政学を

# 大学のここが知りたい!!

## 39

### 女性未来研究所

力を持っています。きっと女性が画く未来は小さなところを見落とさず弱い立場の人に目を配りながら進むでしょう。誰一人置き去りにしない未来、が理想です。と、大きなことを書きましたが、まだこの4月に発足したばかり。老骨に鞭打って就任した私を万事助けて下さる伊藤節副所長、全学部から若手中心に任命された15人の研究員、事務局、オブザーバーの人員で動き始めたばかりです。初年度の研究テーマは①女の一生の過去現在を踏まえて未来を構築するライフサイクルアプローチによる研究②食生活を中心に女性の人生100年の健康を設計する③防災・復興と災害弱者、の3点、さらに個人研究も歓迎しています。本研究所は、研究と同時に国内・国際的な協同を目標としてまいります。

## Library Mates が 選書ツアーへ行ってきました!



板橋図書館では、学生ボランティア団体「Library Mates」から希望者を募り、昨年10月27日に選書ツアーを実施しました。大学図書館にあってほしいと思う本、他の学生にオススメしたい本を学生自身に選んでもらおうという、図書館において初の試みです。今回は丸善・丸の内本店よりご協力頂き、6名の学生が参加しました。どんな本がいいか全員真剣に豊富な資料の中から約20冊を選んできました。

返却してください。

3月17日(火)までに貸出中の図書はすべて返却してください。

卒業学年のみさん

所属	貸出日	貸出冊数	返却期限日
大1-3・短1	1/22(木)~3/26(木)	5冊	4/10(金)
院在学年	1/22(木)~3/10(火)	10冊	
大4・短2	1/22(木)~3/17(火)	5冊	3/17(火)
院卒業学年	1/22(木)~3/17(火)	10冊	

所属	貸出日	貸出冊数	返却期限日
大1-3・短1	1/19(月)~3/24(火)	5冊	4/8(水)
院在学年	1/19(月)~3/7(土)	10冊	
大4・短2	1/19(月)~3/17(火)	5冊	3/17(火)
院卒業学年	1/19(月)~3/17(火)	10冊	

## 図書館

板橋図書館では、学生ボランティア団体「Library Mates」から希望者を募り、昨年10月27日に選書ツアーを実施しました。大学図書館にあってほしいと思う本、他の学生にオススメしたい本を学生自身に選んでもらおうという、図書館において初の試みです。

●春期休業中の貸出  
春期休業中は、通常よりも長い期間貸出ができます。この機会にたくさん本を読んで知識を蓄え、4月から新生活に備えましょう。

### 中学校・高等学校

#### ◆プラスバンド部

#### 加賀福祉園にて演奏を披露

高校プラスバンド部は、10月25日に板橋区立加賀福祉園にて行われた加賀福祉園祭に参加し、ボランティア演奏会を行いました。

このイベントは、障害児・障害者施設のお祭りや、利用者の方々の他、一般のお客様も参加されています。地域交流のコンセプトの下、平成23年から毎年参加しております。今回のイベントでは、約20分のステージで皆さんもよく知っている歌謡曲や洋楽など4曲の演奏を披露し、多くの方達と一緒に楽しい時間を過ごしました。

◆ドリルチーム部  
 ◆全国大会2位  
 10月25日、第14回全日本チアダンス選手権大会・関東地区予選大会が川崎体育館にて行われました。Bチームは0・17点足らず

10月18日に、幼稚園では芋掘り遠足を行いました。皆でバスに乗って芋掘りをする農園へ行きますが、バスの中でも元気いっぱいの子も達。知っている歌を皆で歌いながらの道中は、とても賑やかでした。

### 幼稚園

#### 「たくさん掘れたよ！」

10月18日に、幼稚園では芋掘り遠足を行いました。皆でバスに乗って芋掘りをする農園へ行きますが、バスの中でも元気いっぱいの子も達。知っている歌を皆で歌いながらの道中は、とても賑やかでした。

農園に着くと、早速、お芋掘りが始まります。サツマイモが見える度に「お芋が見えたよ！」と言う子、掘るのに夢中で黙々と掘る子、それぞれが思い思いに掘っていきます。また、掘れたサツマイモの一つ一つが嬉しく、一つ掘れるごとに「見て！掘れたよ！」



「見て見て！こんなに大きなお芋が出てきたよ！」

に決勝進出を逃しましたが、Aチームは3位で終え、11月29日、東京体育館で行われた全国大会に出場しました。その結果、2位という成績と共にアメリカ大会出場権利を頂くことができました。

今後毎日練習の中でメンバー同士が切磋琢磨し、さらに、進化し続けていきたいと思えます。「日々感謝を忘れず、心と記憶に残る演技」を応援して下さる方々に届けたいと思います。

全国大会2位に輝いた(ドリルチーム部)



熱のごもった演奏を披露!(プラスバンド部)

と子ども達は大喜びです。自分で掘ったサツマイモを手を持つ子ども達は、誇らしげな顔をしていました。サツマイモがたっぷり入ったリュックは、自分よりも重くなり、持って帰るのもやっとです。重くて後ろに反り返ってしまいそうになりながらも、一生懸命にリュックを背負って帰る子ども達でした。

### サークル経過報告会及び交流会開催

サークル部長会は毎月第2木曜日に65団体で開催されていますが、2月に開催された「サークルリーダーストレートニング」で提案された課題をもとに、後期のサークル活動をより充実したものにすることを目的として、9月17日に経過報告会が開催されました。



サークル経過発表後の講評



構内での100名バーベキュー

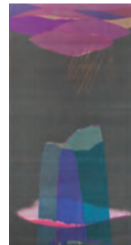
10班に分かれ、今年度も皆さんの顧問の先生方に参加して頂き、班ごとに発表をしました。その後、情報交換と交流会を兼ねて、バーベキューを行い、和やかに閉会しました。

### 「ニューズファイル」

#### 早瀬郁恵准教授

#### 改組 新第1回日展

10月31日〜12月7日に国立新美術館にて開催された改組 新第1回日展第4科(工芸美術)において、作品「霞立ツ」が特選を受賞されました。



作品「霞立ツ」

#### 関口教授、栄養士養成

#### 功労者として表彰

8月23日、関口紀子教授は、厚生労働大臣から栄養士養成功労者として表彰されました。

#### 渡辺学園在学生特待生

#### 奨学金の授与式開催

本学創立130周年を記念して創設された渡辺学園在学生特待生奨学金の授与式が7月1日に行われました。この奨学金制度は、学業成績、人物等について極めて優れた学生を選考・決定するもので、奨学生は後期授業料が免除となります。今年度は大学54名、短大3名の合計57名が採用されました。授与式では、学

今年度は「キヌヒカリ」という品種に加え、古代米を4種類育てました。成長の段階からそれぞれに特徴があったので、食べるのがとても楽しみです。

今年度のテーマは、「伝統の土壌に新しい芽を育てる」。第1部では、文部科学省研究振興局長(前高等教育局私学部長)の常盤豊氏が「大学改革の推進について」と題して基調講演をされ、第2部は、大阪大学教育学習支援センター副センター長長の佐藤浩章氏の指導により、「3つのポリシー策定の意義とその方法」及び

#### 平成26年度防災訓練実施

10月9日、大学・短大教職員、学生等を対象として、地震による火災発生を想定した通報、消火、救出、救護、避難訓練及び消防署の指導による実技訓練が行われました。避難場所は、中高グラウンドとなり、多くの先生方学生達が参加されました。



学長より採用通知の授与

「カリキュラムマップ作成ワークショップ」と題して、ワークショップが行われ、活発な意見交換が行われ、実りある充実した研究会となりました。



真剣に取り組む学生達

### 北区高齢者ふれあい食事会

#### 味の素とコラボ

ヒューマンライフ支援センターでは北区在住高齢者世代の方を対象に、高齢者の孤独感の解消や引きこもりの防止、地域社会への参加を促すことを目的として、隔週の水曜日に学生食堂を会場に「北区高齢者ふれあい食事会」を実施しています。北区では本学の他、女子栄養大学などの教育機関や地域の飲食店などでもこの企画を実施しています。



異世代間の交流も深まる食事会



ボランティア学生と参加者団集の様子

年度から継続して行っており、参加者の方からも毎年大好評をいただき、最も満足度の高い実施地のひとつとされています。

その成果から、本年度は「味の素(味食品研究所)より依頼を受け、企画を利用し参加者のストレス対処力

(Sense of coherence: SOC)をアンケート調査によって集計・分析を行い、高齢者世代の健康要因を把握することを目的とした研究を行いました。アンケート集計には学生ボランティアも協力しました。

## 節電継続にご協力を!

東日本大震災後の法律に基づき電力の使用制限が終了した後も、本学園は節電に継続して取り組むことを決定し、電力需要の大きくなる冬季及び夏季に関係各位のご理解・ご協力のもと、より安全で効果的な節電に継続して取り組むことをお願いしてきます。

また、化石燃料の消費を抑制し、地球温暖化防止に

よる環境負荷を削減するためにも、節電と一体となった省エネルギーへの取り組みが必要です。

今冬は政府による具体的な数値目標は設けられていませんが、教育研究活動などへの影響を極力回避した無理のない形で、健康被害が発生しないように配慮しつつ継続して節電・省エネルギーが行われるよう

お願いいたします(節電、省エネルギーを参照ください)。

冬場の室温は19度とする(空調機設定温度ではない)、ウォームビズの励行、照明は授業や業務に必要な照度を確保しつつ、使用しない照明は確実に消灯するなど、無理のない範囲で節電・省エネルギーに皆様のご協力をお願いします。

